

1. インドへのアパレル輸出が問題に直面 BGMEA

- ・バングラデシュの衣料輸出が挫折の危機に陥っており、その原因として20を超える現地の縫製工場が、インドのバイヤーLiliput Kidswear社から約500万ドルにも上る額の支払いが滞っているからであると輸出業者は述べた。「私たちはインドの会社との具体的な契約を行ったのちに出荷を行っています。4,12,000ドルの支払いが不確定であります。トータルで22もの縫製工場が、契約通りに製品を輸出したにも関わらずLiliput社からの支払いを受け取っておりません」、「被害を受けた22の輸出業者は、この危機を乗り越える為、事件が解決するまで銀行取引に関して銀行に柔軟な対応を求めています。私たちはすでにバングラデシュ銀行に対して、銀行担保の保証書を発行するよう要請しています」と、バングラデシュ衣料輸出業組合(BGMEA)の副会長であるMd Siddiqur Rahman氏は述べた。
- ・インド政府は、2国間のより良い協力関係を築く意思表示として、バングラデシュの縫製産業に関してインドへの無税のアクセスを早くから認めていた。この融通性は、地元の衣料輸出業者の熱意あるインド市場の開拓を助長することとなっていた。
- ・輸出業者の名は下記の通り。
Mazkan Jeans社, Vertex Apparels社, Barat Sweater社, Gemini Garments社, A Plus Sweater, Sinha Fabrics社, Anupam Fashions社, Panshi Knit Pvt社, Kent Fashion Pvt社, Annesha Style社, Hypoid Lingeries社, Defoin Design社, New Generation Fashion社, Uttara Woven and Knit社, DNS Sweaters社, Ayesha Enterprise社, IP Jack Knitting社, T-Mart Computerised Sweater社, Hallmark Designwear社, Apparel Concept社, Alif Garments社, ND Apparels,

2. 中国企業がバングラデシュにシフトか The Daily Star news

- ・バングラデシュは低賃金労働力が魅力であり、中国政府は資質ある中国企業に対して、バングラデシュへより多くの投資を行うよう促してきた。Bol dataによると、2005年7月から2011年4月までの中国のバングラデシュへの投資は計1億6463万ドルと記録されている。中国駐在大使は、中国政府は2国間の友好関係を深めるために動いていると述べた。バングラデシュより中国への無税の待遇により、今では4,700以上のバングラデシュ製品を中国で見つける事が出来る。2国間の貿易収支は、中国にとってかなり有利な状況となっている。商業省のデータによると、2009年度から2010年度、バングラデシュは1億7863万ドルの製品を輸出しているが、一方で30億8100万ドルの製品を輸入している。

3. 電力が1ヶ月で高騰 The Daily Star News

- ・バングラデシュのエネルギー規制委員会役員は、電気料金を少なくとも消費者レベルでは単位あたり5パーセント、0.26タカの値上げを行う予定であると述べた。新たな値上げについて、消費者レベルでの電気料金が現在の単位あたり5.35タカから5.61タカへと上がることになる。「消費者レベルの電気料金は1ヶ月以内に上がるでしょう」と、委員会議長のSyed Yusuf Hossain氏は、首都にあるオフィスで新聞記者に話をした。
- ・電力開発庁は、大口利用者の電気料金の値段を、単位あたり0.41タカ、11パーセント値上げすることを提唱した。去年の12月の原油価格の高騰に続いて燃料費が上がったため、電気開発庁はコストの調整を求めエネルギー規制委員会に値上げを提唱することとなった。

4. トルコ、バングラデシュへスチールの輸出に乗り気 The Daily Star news

- ・トルコは、粗鋼製品を低価格で、大きな輸入国であるバングラデシュに輸出することを検討している、とトルコ鋼輸出組合の議長を務めるNamik Ekinci氏は述べた。「実際にトルコは世界で10番目に多く鋼を生産している国で、7番目に多くその輸出を行っている。私たちは鋼製品を輸出し、ここバングラデシュで鋼産業を立ち上げたのです」と述べている。
- ・代理人は、トルコは2010年に3400万トン、2011年には3800万トンもの鋼製品を生産している、と述べている。彼はまたトルコは2010年に1100万トン、2011年には1800万トンの鋼製品を輸出したと述べた。ドバイが輸入した鋼製品のうち90パーセントはトルコのものであり、トルコはその他にも200以上もの国に鋼製品を輸出している、と述べた。

5. バングラデシュ銀行が外国からの融資を模索 The Daily Star News

- ・バングラデシュ銀行のAtiur Rahman理事は昨日、会計年度の初めに、外国資本から地元工場に5億9800万ドルを借り入れることに同意をした。
- ・バングラデシュ銀行の職員は、企業家は外国資本から借り入れを行えば、安定した為替レートを保つのに、外貨準備高へのプレッシャーを和らげるのにも役立つことになる、と述べた。
- ・Foreign Investors' Chamber of Commerce and Industry (FICCI)は、Sonargaonホテルにて会合を開催し、海外の投資家たちに対し、国のあらゆる分野における業績を披露した。国の経済は過去10年間、十分とはいえない経済基盤やエネルギー不足、汚職や不安定な政治に悩まされながらも、毎年6パーセントの経済成長を見せている。2月のインフは平均で11パーセント近くとなっていた。月単位では、1月は11.59パーセント、2月は10.4パーセントへと下落している。また為替レートの不安定性は緩和され、銀行の流動性危機は利率とともに減少した。

6. 海外援助の使用は低水準 The Daily Star News

- ・経済関係局(The Economic Relations Division)は、対外支援の遅い使用ペースについて、数々の理由を見つけており、その中には政府側の入札処理の遅れも理由のひとつに挙げられる。
- ・バングラデシュは、全ての対外支援のうち約70パーセントを世界銀行とアジア開発銀行から受け取っている。経済関係局の職員は、問題のあるプロジェクトを見直し、少なくなった支出の理由を特定した、と述べた。
- ・政府側の主な理由は、入札処理の遅れが挙げられる。経済関係局の職員はまた、開発パートナーは、プロジェクトの汚職に関する調査をするのに多くの時間を使いすぎ、これが遅れを招いている、と述べた。より大きな対外支援プロジェクトは、年中徹底的に監視される事になるだろう。

7. 南アジア諸国との間の貿易赤字は、半期で20億USDドル The Daily Star news

- ・バングラデシュの対南アジア諸国との貿易赤字額は2011年12月までの6ヶ月間で20億ドルを超えた。南アジア地域協力連合(SAARC)が、バングラデシュの昨年の国際貿易のなかで17パーセントもの割合を占めた。バングラデシュは2つの貿易基盤を持っているが、南アジア自由貿易圏貿易協定(SAFTA)のもとでの多角貿易である、と南アジア地域協力連合の代表であるAnnisul Huq氏は述べた。
- データによると、バングラデシュは、2010～2011年度、南アジア自由貿易圏の国々のなかで40.7億ドルもの貿易赤字があり、これは2009～2010年度のものよりも47.08パーセント多い額となっている。

8. 国際通貨基金(IMF)による10億USDドルの貸付限度額に近づく The Daily Star News

- ・政府はすでにアクションを起こしているが、IMFの他の条件によると、6月までに新しいVAT法が会議にかけられ、新しい法律施行の為の実行計画と予定表が財務大臣に承認されなくてはならない。
- この法令はバングラデシュ銀行に、唯一の法的監督行為と、全ての民間銀行への行政権限を与えることを目的としており、さらに主な株主、取締役会のメンバー、銀行の管理職に適切な基準を設けることも目的となっている。
- IMFはまた、2014年の6月までに融資分類や貸倒れ引当金の繰入額に関する新しい規制をつくるように要求した。

以上